

英語語法文法学会第 29 回大会プログラム

日時：2021 年 10 月 16 日（土）

今年度はオンライン開催となります。

オンライン開催の概要

- ・「総会」と「ワークショップ・研究発表・シンポジウム」とでは開催方式が異なります。
- ・「総会」は 10 月 16 日（土）10:00～10 月 22 日（金）18:00 の間、プログラムと資料を本学会ウェブサイトにて公開します。
- ・「ワークショップ・研究発表・シンポジウム」は Zoom を利用して行います。
- ・いずれもアクセスのための ID・パスワードは別途会員に通知します。

総会（本学会ウェブサイト）

開会の辞／学会賞・奨励賞選考報告	会 長	中澤和夫（青山学院大学）
事務局報告	事務局長	山本 修（大阪市立大学）
会計報告	会 計	吉川裕介（京都外国語大学）

ワークショップ（Zoom） 10.30 – 10.55

司 会 吉川裕介（京都外国語大学）

1. 「get a look の get は軽動詞か？」……………井口智彰（大島商船高等専門学校）

研究発表（Zoom）

午前の部 11.00 – 12.40 11.35

司 会 吉川裕介（京都外国語大学）

1. 「比較構文における形容詞の相対性と絶対性に関する一考察」……島本慎一郎（日本大学）
2. <発表者の都合により中止>

午後の部 13.30 – 15.15

司 会 住吉 誠（関西学院大学）

1. 「英語における V-ing 補文の主語の構文文法的分析」……酒井啓史（筑波大学大学院）
2. 「知覚動詞の現在分詞補文に見られる話者の心理的作用について」
……………村岡宗一郎（日本大学大学院）
3. 「連結動詞 remain の意味と否定辞 un- を伴う主格補語構文」
……………岩宮努（大阪大学大学院）

シンポジウム（Zoom） 15.35 – 17.45

テーマ 「正しい英文解釈に必要な語法文法知識」

司 会 吉田幸治（近畿大学）

1. 「伝統的英文解釈指導の功と罪—必要なことと不必要なこと—」
……………吉田幸治（近畿大学）
2. 「否定と肯定の強さ—not very, barely/hardly/ scarcely, by all means をめぐって—」
……………林龍次郎（聖心女子大学）
3. 「文法構文とその変種の意味について」
……………岡田伸夫（関西外国語大学）

閉会の辞 山本修（大阪市立大学）

連絡先：英語語法文法学会

〒558-8585 大阪府大阪市住吉区杉本 3-3-138 大阪市立大学英語教育開発センター 山本修 研究室内

tel.: 06 -6605-3587（研究室） / fax: 06 -6605-3587（共同研究室）

（Email: segu.office@gmail.com ウェブサイト: <http://segu.sakura.ne.jp>）